

## ●募集要項について

### 【雇用期間について】

Q1:雇用期間についてはどのように決まるのでしょうか。

A:採用日から原則5年間となります。例えば、2027年1月1日に採用された場合は、2031年12月31日までとなります。

### 【応募資格について】

Q2:どのような研究分野が対象になるのでしょうか。

A: 研究分野は問わないものとし、人文科学、社会科学、自然科学の全分野を対象とします。

Q3:独立したPIとして主体的な研究活動を行うことができる若手研究者とありますが年齢制限はありますか。

A:研究分野の特性によるキャリアパスやライフイベント等により様々な事情が考えられることから、年齢制限は設けていません。

Q4:令和8年度の12月に博士号取得の見込みなのですが、応募資格はあるのでしょうか。

A:本学への着任時点で博士の学位を有するのであれば、応募可能です。

### 【研究活動の実施について】

Q5:受入部局は、どのように決まるのでしょうか。

A:稲盛フロンティアプログラムの採用者の所属は高等研究院となりますが、実際の研究活動は、各キャンパスの研究院・研究所(受入部局)で実施します。受入部局は、本人が希望する研究院・研究所の中から、選考中に高等研究院が調整を行った上で決定します。

Q6:研究活動への専念を基本とありますが、今後のキャリアを考慮して、教育活動及び学生指導にも携わりたいと考えていますが、可能でしょうか。

A:研究活動へのエフォート率が70%を下回らない範囲であれば可能です。希望する場合は、受入部局の承認が必要となりますので、採用後に受入部局へご相談ください。

### 【給与等について】

Q7:給与額はいくらになるのでしょうか。

A:九州大学特定プロジェクト教員等給与規程に基づいて、本学の一般の准教授(年間給与額(平均)約899万円/平均年齢50.0歳)を上回る、基本年俸1,000万円～1,200万円の範囲で、研究経歴等によって決定します。詳しくは、下記(参考例)を参照してください。

(参考例)

## 1. 給与

(1) 支給月額 842,300 円(年俸 10,107,600 円の場合)

※支給月額から社会保険料、諸税等として月額約 24 万円控除され、約 60 万円が本人の手取り額となります。

(2) 業務手当 通勤手当のほか、給与規程に定める手当を支給

※住居手当、扶養手当、期末・勤勉手当等は支給されません。

## 2. 退職金

支給されません。

## 3. 健康保険、年金

文部科学省共済組合及び厚生年金に加入していただきます。

Q8: 赴任旅費の支給はあるのでしょうか。

A: 規程に従い支給されます。

([https://www1.g-reiki.net/kyushu-u/reiki\\_honbun/u437RG00000244.html](https://www1.g-reiki.net/kyushu-u/reiki_honbun/u437RG00000244.html))

Q9: 国立大学に勤務している者が採用された場合、退職金は通算されるのでしょうか。

A: 通算されません。

Q10: 休日のほかに有給休暇はあるのでしょうか。

A: 就業規則に定める、年次有給休暇、病気休暇、特別休暇等があります。

([https://www1.g-reiki.net/kyushu-u/reiki\\_honbun/u437RG00000229.html](https://www1.g-reiki.net/kyushu-u/reiki_honbun/u437RG00000229.html))

Q11: 職員宿舎に住むことは可能なのでしょうか。

A: 貸与申請することは可能です。なお、空き状況等もありますので、希望通りになるとは限りません。

Q12: 育児休業の取得は可能でしょうか。また、取得した場合の雇用期間の取扱はどうなるのでしょうか。

A: 取得時に要件を満たしていれば取得可能です。ただし、育児休業取得に伴う雇用期間の延長はありません。

Q13: 日本学生支援機構が定める免除職に該当するのでしょうか。

A: 5年間の有期雇用ではありますが、常勤フルタイムの研究職ですので、免除職制度の基準に該当します。

## 【研究活動への支援について】

Q14: 研究費等の支援についてはどのように受けられるのでしょうか。

A: 以下のとおり研究費等を支援します。なお、採用が年度の中途の場合、初年度の支援額は月割りで支給となります。

## 1. 研究費(1人あたり)

[実験系]200万円/年(採用から3年間支援)  
[非実験系]100万円/年(採用から3年間支援)

## 2. 研究支援者等雇用経費(1人あたり)

600万円/年(採用から5年間支給)

Q15:研究費の「実験系」と「非実験系」はどのように決まるのでしょうか。

A:応募者の専門分野、研究計画の内容に基づいて判断します。なお、研究内容により人社系でも「実験系」の適用となる場合があります。(採用決定後に応募者の研究内容を確認の上、決定します。)

Q16:募集要項で記載されている支援に加えて、研究環境の整備に必要な経費支援(研究機器の移設にかかる費用等)を受けることは可能でしょうか。

A: 予算等の問題があるため、支援が可能かどうかは、個別の事情について相談を受けて判断します。  
なお、採用決定後でないとは判断ができない場合がありますので留意してください。

## 【高等研究院教授としての採用について】

Q17:雇用期間終了後、最終評価の結果を踏まえて、特に優れていると認められた者(最大2名)を高等研究院教授として採用予定とありますが、テニュアトラック制ではないのでしょうか。また、教授になる者はどのように決まるのでしょうか。

A:テニュアトラック制ではありません。高等研究院教授としての採用は、専門分野別の特性を踏まえて、トップジャーナルへの論文掲載数・論文引用数や競争的研究費の獲得状況等を参考に最終評価を行って、特に優秀な者を最大2名採用する予定としています。  
なお、最終評価の結果、適当と認められる者がいない場合は、採用は行いません。

## 【選考方法について】

Q18:九州大学出身者・在籍者が有利なのでしょうか。

A:選考に影響はありません。

Q19:面接はどのように行われるのでしょうか。

A:面接の形態はオンラインを予定しています。詳しい実施方法等については、対象者へ個別に連絡します。

Q20:面接はどの言語で行われるのでしょうか。

A:本人の選択に基づき日本語または英語で実施しますが、質問の一部を英語で行う場合もあります。

Q21:指定された面接日時に他の予定が入った場合は、別の日時に変更可能でしょうか。

A:指定された面接日時の変更は認めません。

Q22:選考の結果については、どのように通知があるのでしょうか。

A:本人にE-mailにて通知します。通知時期の目安については、以下を予定しています。

なお、選考スケジュールの影響によって変更の可能性があります。

1. 第1次選考(書面審査)の結果通知:2026年5月上旬
2. 第2次選考(書面審査)の結果通知:2026年8月下旬
3. 第3次選考(面接審査)の結果通知:2026年11月中旬

### 【書類提出方法・締切について】

Q23:応募書類のアップロード後に誤りを見つけましたが、差替えは可能でしょうか。

A: 締切までであれば差替えが可能です。ファイルの名称に「差替」等を付したものを再度アップロードしてください。ただし、締切後の差替えは無効となりますのでご注意ください。

Q24:応募締切後に受け付けていただくことは可能でしょうか。

A:応募締切以後は一切受け付けません。

Q25:メールや郵送での書類提出は受け付けてもらえるのでしょうか。

A:アップロードでのみ応募を受け付けます。メールや郵送にて提出されたものは、受け付けません。

### 【注意事項について】

Q26:研究の実施場所となる研究院・研究所等の研究環境、研究設備等について事前に確認を行いたいのですが、直接、問い合わせてもよいでしょうか。

A: 各研究院・研究所等への事前確認・質問については、事前確認・質問を行う研究院・研究所等名を明記した上で、稲盛FP公募担当宛てにメールを送付してください。

なお、質問内容によっては、回答までに時間がかかる場合がありますので、時間的余裕をもってお問い合わせいただくようお願いします。

### 【問い合わせ先について】

Q27:電話での問い合わせは可能でしょうか。

A:電話での問い合わせにはお答えできません。また、応募締切直前には、多くの方からメールによる問い合わせが予想されるため、時間的余裕をもって問い合わせてください。

なお、応募登録後の応募書類データのアップロード先の通知については、受信後3日以内にメールにて連絡しますので、それまでは受信の確認について問い合わせることは控えてください。

#### 【問い合わせ先】

九州大学研究・産学官連携推進部 稲盛FP公募担当  
E-mail inamorifp@jimu.kyushu-u.ac.jp